

令和7年度指定管理業務に関する事業報告書（地域包括支援センター）

センター名 高野地域包括支援センター

1 施設の管理運営

【開所日及び開所時間】

開所日：月曜日～金曜日（12月31日～1月3日休業）

開所時間：午前9時～午後5時

営業時間外の相談については、転送専用携帯電話を1台配置し、職員が当番制で携行する体制を整えている。これにより、夜間・休日を含む緊急時の相談に、可能な範囲で対応できる体制を確保している。

【事業実施地域】

養徳学区、養正学区

2 事業実施内容

○総合相談支援およびネットワーク構築として、地域福祉組織、サービス事業所、包括的支援事業等との連携に努め、包括的な支援体制の構築と多職種連携における課題解決を図った。また、高野圏域認知症ネットの活動を継続し、多職種ネットワークの充実・強化に取り組んだ。

○権利擁護業務として、高齢者虐待や困難事例、消費者被害への対応を行うとともに、地域への周知活動や見守りネットワークの構築に努めた。

○包括的・継続的ケアマネジメント支援業務として、専門職部会やブロック連絡会において研修や事例検討会を定期的に開催し、介護支援専門員を取り巻く環境や制度の動向を的確に把握したうえで、求められるスキルや知識に即した研修を計画・実施した。その際には、在宅医療・介護連携支援センターとも連携し、地域の医療・介護連携の推進に寄与した。

○介護予防の普及啓発として、今年度も地域の活動に参加し、介護予防に関する情報提供を行った。また、支え合い活動である「高野学区を元気にする会」の企画・運営に参画し、高齢者の社会参加や多世代交流を目的としたイベントを開催した。

3 サービス提供状況

主任介護支援専門員1名（センター長兼務）

看護師1名、社会福祉士1名、介護支援専門員2名、事務職員1名を配置。

4 市内中小企業への発注に対する考え方

可能な限り市内中小企業への発注を行う。

5 施設の利用状況（施設の稼働率、利用者数、事業参加者数など）

(1) 介護予防支援給付対象者数（実績値）

2084 人

(2) 相談延べ件数（実績値）

895 件

(3) 収支実績

ア 令和6年度収入状況（単位：円）

委託料	26,703,400
介護保険収入	10,681,670
その他	198,947
収入計	37,584,017

イ 令和6年度支出状況（単位：円）

人件費	33,316,871
事業費	2,047,468
委託費	925,707
小額修繕費	114,060
その他	123,000
支出計	36,527,106

6 施設の利用者満足度の把握

(1) 利用者満足度の把握状況

定期的なモニタリングでサービスにおける効果や満足度等の把握に努めている。

(2) 利用者満足度把握の結果

苦情については、当該マニュアルに則り誠実に対応する。また、年に1回は法人全体でハラスメント研修を受講している。

(3) 意見等への主な対応状況

いただいた意見については法人上長への報告を必須とし、改善が必要な内容であれば積極的に取り組む。

7 その他特記事項

(1)

I ケア会議	1回（支援者が困難を感じているケース）
II ケア会議	5回（名簿突合・消費者被害勉強会・事例検討会等）
III ケア会議	2回（重層的支援体制整備事業について・高齢者とペット問題）

8 評価（指定管理者自己評価）

今年度も人員配置に変更はなく、公正・中立性を確保した事業運営に努めた。地域の介護予防活動や居場所づくりの取り組みについては、すこやかサロン等への参加を継続し、地域の実態把握と関係構築に取り組んだ。

また、当圏域の専門職ネットワークである「高野圏域認知症ネット」と協働し、認知症サポーター養成講座の開催や商店街イベントへの参加を通じて、地域住民への認知症普及啓発活動を継続的に実施した。講座開催にあたっては、昨今の認知症施策等を学ぶ機会を設け、職員の知識向上にも努めた。さらに、平成30年から継続している金融機関との認知症対応勉強会については、市の認知症地域支援推進員と企画段階から連携し、より実践的な内容となるよう調整を行った。地域のボランティアで構成される「高野学区を元気にする会」とは、高齢者の居場所づくり・参加促進を目的に、「高野川寄席」や「なつかしの映画観賞会」を企画・開催し、地域のつながりづくりに寄与した。

これらの取り組みを通じ、地域の支援体制の維持・強化に努めることができた。今後も関係機関・地域住民と協働し、誰もが安心して暮らし続けられる地域づくりに引き続き取り組んでいく。